

井口 信 “ 絢うように ”

2023年11月17日(金)-12月2日(土)

日・月・火曜 休廊

時間: 12:00-19:00 (最終日は17:00まで)

*レセプションパーティーはございません。



“ 海のドレス ”

麻紙に岩絵の具、水干絵の具、銀箔、金泥 72.7×60.6cm 2023

s+arts (スプラスアーツ) より、井口信 個展「絢うように」の開催をお知らせいたします。

和紙に岩絵の具や箔などを用い、伝統的な日本画の技法で独自の世界を創り出す井口信は、日々の生活の中で感じた自然の美しさや畏怖、生命の輝きを動物の形等を組み合わせることで表現しています。作品を通じて、年齢や性別、国境など、様々な垣根を越えた人間の根底にある美意識に働きかけるような作品を描くことを目指しています。

井口の作品に描かれる動物や樹々はいつも、穏やかに凛とした佇まいで画面に現れ、まるで何かを守っているかのような神秘的な印象を受けます。広大な自然が持っている命のエネルギーが躍動感溢れる力強いタッチで描かれることもあれば、モチーフとなる動物にまつわる情景が、心落ち着く優しい趣で描かれることもあります。命のエネルギーや神秘性をテーマに、力強さと儚さを兼ね備えながらも、繊細なタッチで描かれる井口の作品は、日本画特有の物質感、そして彼自身の技術と感性が混じり合いながら、彼の追求する自然の美しさが表現されています。

「絢う」とは、糸と糸を撚り合わせることである。

糸というのは様々な意味を投影できるものである。時には歩んできた人生に例えられたり、運命の赤い糸のように使われたりする。また、糸を線に置き換えると、世界線というように世界そのものを示すこともできる。

昨年、初めて開催した個展から10年という節目を迎え、改めて自分にとって絵を描くということはどのようなことを考えていた時、「絢う」という言葉に行き着いた。私にとって絵を描くということはこれまでの人生という糸、想像という糸、私の生きるこの世界という糸を撚り合わせていくことに重なると感じたからである。そして、絵を描く行為そのものも、ひと筆ひと筆を重ねつむいでいくものであり、私の「今」そのものなのだ。 --- 井口信

本展「絢(な)うように」では、描く対象となる動物に施される草花の存在感やそれらを取り巻く背景とのバランスがより巧みに描かれており、井口の想う情景が鮮明に表れている印象を受けます。昨年節目を迎え、改めて自身の制作と向き合った井口信の新作展を是非ご高覧ください。

井口 信 Shin Iguchi

1989 神奈川県生まれ
2013 多摩美術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業
2015 多摩美術大学博士前期課程美術研究科絵画専攻日本画研究領域を首席で修了



個展

2023 「絢うように」 s+arts (東京)
2022 「命巡る」 s+arts (東京)
2021 「命あふれる」 s+arts (東京)
2020 「命の唄」 s+arts (東京)
2019 「Seed of the world」 s+arts (東京)
2018 「BREATH」 Shonandai Gallery (東京)
2017 「LIFE」 Shonandai Gallery (東京)
2016 「神木の森」 Shonandai MY Gallery (東京)
2015 修了制作展 「utopia」 GALLERY ART POINT (東京)
2014 「井口信 展」 Shonandai MY Gallery (東京)
2012 「SHIN IGUCHI EXHIBITION ～記憶の星たち～」 アートギャラリー石 (東京)

グループ展他

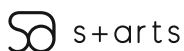
2022 「古都鎌倉に集いし絵師の筆比べ展」 鎌倉パークホテル (神奈川)
「花信風 Artist Group -風-Epilogue」 高島屋日本橋店・京都店・横浜店
2020 「Spring is around the corner II 展 ～春が来たよ!～」 京王プラザホテル (東京)
2019 「第6回未来展」 日動画廊 (東京)
2017 「Shonandai MY Gallery 開館10周年記念展」 Shonandai Gallery (東京)
「米ちゃんありがとう 米谷清和先生の多摩美術大学勤続45年を教え子たちが祝う」
多摩美術大学美術館・アートスペース羅針盤 (東京)
「第四回飛の会」 銀座井上画廊 (東京)
2016 「かさぎ画廊ニューヨーク凱旋企画“マンハッタンで輝いたアーティスト展”」
かさぎ画廊 (神奈川)・松鶴園 (愛知)
「NEXT JAPAN」 The Nippon Gallery (NY) / 主催 かさぎ画廊
「第三回飛の会」 銀座井上画廊 (東京)
「倶楽部山猫絵画展」 山猫軒 (埼玉)
「第4回Artist Group-風-小品展 花信風」 高島屋日本橋店・京都店・大阪店
2015 「MY duo 2015 -井口信・真条彩華-」 Shonandai MY Gallery (東京)
「第二回次世代アーティスト展」 かさぎ画廊 (神奈川)
「第二回飛の会」 銀座井上画廊・KAMIYA ART (東京)
2014 「平成26年度 第38回東京五美術大学連合卒業・修了制作展」 国立新美術館 (東京)
「第二回チャリティー展～Art for people～」 純画廊 (銀座、東京)
「A GROUP SHOW OF JAPANESE ARTISTS IN COLLABORATION
WITH STUDIO ART & GALLERY KASAGI」 (インド) / 主催 かさぎ画廊
「第5回-こめつぶつぶより-展」 山猫軒 (埼玉)
「碧い石見の芸術祭20《全国美術大学奨学日本画展2014》」 (島根)
「Octet 2014多摩美術大学大学院日本画領域2年生展」 佐藤美術館 (東京)
「現代鳥獣戯画展」 かさぎ画廊 (神奈川)
「第一回カナソウトリエナーレ」 横浜市民ギャラリーあざみ野 (神奈川)
「“ポートフォリオ”ってなんだ?展」 デッサン | dessin (東京)
「雪舟国際美術協会日本画選抜特別展」 東京都美術館 (東京)
2013 「第一回チャリティー展～Art for people～」 純画廊 (東京)
「Expected Artists 2013」 Shonandai MY Gallery (東京)
「第4回 “こめつぶつぶより”展」 山猫軒 (埼玉)
「第1回次世代アーティストイレブン展」 かさぎ画廊 (神奈川)
「Polaris展」 銀座スルガ台画廊 (東京)
「平成24年度 第36回東京五美術大学連合卒業・修了制作展」 国立新美術館 (東京)
「多摩美術大学日本画卒業制作展」 東京銀座画廊 (東京)
「SWITCH ART 展」 アートギャラリー石 (東京)
2010 「有頂展!」 CCAAアートプラザ ランプ坂ギャラリー (東京)

アートフェア

2019 ONE ART TAIPEI (台北) / s+arts
2017 ART KAOHSIUNG (高雄) / Shonandai Gallery
Young Art Taipei (台北) / Shonandai Gallery
2015 Young Art Taipei (台北) / Shonandai Gallery

受賞・入選

2023 第10回郷さくら美術館桜花賞展 出品
2018 第54回神奈川県美術展 入選
2015 第51回神奈川県美術展 入選
Artist Group-風- 第4回大作公募展 入選
(東京都美術館・砺波美術館)
2014 第50回神奈川県美術展 入選
2013 第49回神奈川県美術展 入選
2012 第12回福知山市 佐藤太清賞公募美術展 入選
第48回神奈川県美術展 入選
2011 第47回神奈川県美術展 入選
2010 第46回神奈川県美術展 入選



〒106-0032

東京都港区六本木 7-6-5

六本木栄ビル 3F

TEL&FAX 03-3403-0103

MAIL info@splusarts.com

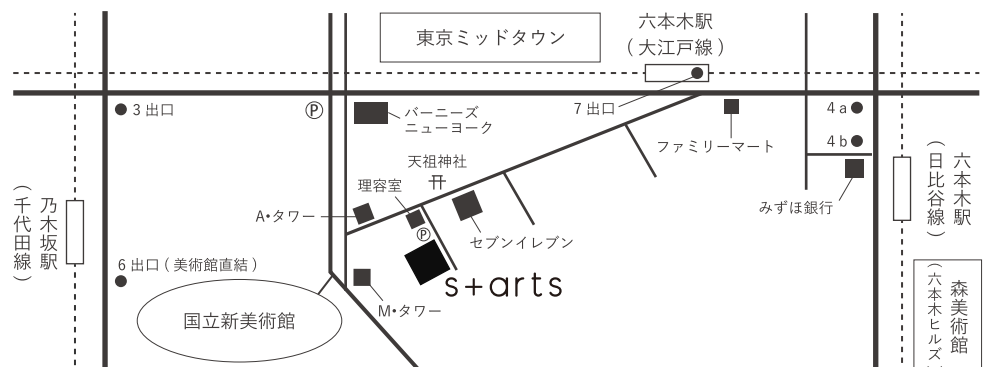
WEB www.splusarts.com

f www.facebook.com/splusarts

Instagram www.instagram.com/splusarts

Twitter www.twitter.com/splusarts

Artsy www.artsy.net/s-plus-arts



東京メトロ 日比谷線 六本木駅 / 千代田線 乃木坂駅: 徒歩約5分 都営大江戸線 六本木駅: 徒歩約3分